

【 宿泊約款 】

(適用範囲)

第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関する契約は、この約款の定めるところによるものとしこの約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとしします。

- 2 当館が、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとしします。

(宿泊契約の申込み)

第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
- (4) その他当館が必要と認める事項

- 2 宿泊の申し込みをした者は、当館が宿泊者の氏名、住所、電話番号等を記載した宿泊者名簿の提出を依頼したときは、宿泊契約成立後であっても、直ちに提出するものとしします。
- 3 当館は、宿泊予定日前後の任意の日に、宿泊客からいただいた連絡先に予約の確認及びその他連絡事項に関する電話を差し上げることがあります。
- 4 宿泊客が、宿泊中に第1項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとしします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとしします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。
- 5 当館が、インターネットサイトに誤った宿泊料金を提示し、又は電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊契約の申し込みをされ、当館が承諾した場合でも、当該料金がその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金に関して低廉である理由の表示又はご案内のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げます。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は契約成立後、同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

第4条の2 当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当館が旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
- (3) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることが困難なとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の第2項第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (5) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (6) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定する社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- (7) 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害する恐れのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、泥酔し又は言動が著しく異常である等により、他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (9) 宿泊の申し込みをした者が、自己の商業目的を秘して申し込みをしたとき。
- (10) 宿泊の申し込みをした者が、第2条第2項に基づく当館の依頼に対し、直ちに応じなかったとき。
- (11) 宿泊しようとする者が、インターネット予約システムを利用し、みだりに予約、キャンセルを繰り返し、当館に著しく迷惑を及ぼしたことがあった場合。
- (12) 都道府県条例に特に規定される場合に該当するとき。
- (13) 宿泊しようとする者に支払能力がないと明らかに認められるとき。
- (14) 宿泊しようとする者が、危険物、禁制品、その他お客様のご迷惑になる物の持ち込み、または持ち込みをしようとするとき。
- (15) 宿泊しようとする者が、未成年者(18歳未満)で、お一人様または未成年者同士の場合において、親権者による「同意書」の提出がないとき。
- (16) 宿泊しようとする者が、第5条、(5)から(15)の各項により以前に当館から宿泊契約締結の拒否、あるいは宿泊契約の解除を申し出る対象となった者であると認められたとき。
- (17) その他当館が不相当と判断する行為をしたとき。

2 当館は、次に掲げる場合には、宿泊契約の締結に応じません。

- (1) 宿泊しようとする者が「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等(以下「暴力団」及び「暴力団員」とする)またはその関係者、その他反社会勢力であるとき。
- (2) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が支配する法人、その他の団体であるとき。
- (3) 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者があるとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2 宿泊しようとする者は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館

が宿泊客に告知したときに限ります。

- 3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後7時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。
- 4 前項の規定により解除されたものとみなした場合において宿泊者が、その連絡をしないで到着しなかったことが列車、航空機等公共に運輸機関の不着又は遅延その他、宿泊者の責めに帰さない理由によるものであることを証明したときは、第2項の違約金はいただきません。

（当館の契約解除権）

第7条 当館は、次に掲げる場合においては、お引き受けした宿泊期間中といえども、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当館が、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

（1）第5条第1項（3）から（17）並びに第5条2項（1）から（3）に該当することとなったとき。

（2）寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。

（3）宿泊しようとする者が著しく不潔な身体、又は服装をしているため、他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。

- 2 当館は、第5条第2項各号に該当する場合には、お引き受けした宿泊期間中といえども、宿泊契約を解除します。
- 3 当館が前第1項及び第2項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、その解除事由が第5条第1項（2）及び（3）によるときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきませんが、既に提供しているサービスに対する返金などはいたしません。その余の解除事由によるときは、いまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金も、違約料としてお支払いいただきます。

（宿泊契約解除の説明）

第7条の2 宿泊客は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

（宿泊の登録）

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

（1）宿泊客の氏名、住所及び連絡先

（2）日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号

（3）その他当館が必要と認める事項。

- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、当館が定めるチェックイン時刻からチェックアウト時刻までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

（1）超過3時間までは、室料相当額の30%

（2）超過6時間までは、室料相当額の60%

（3）超過6時間以上は、室料相当額の100%

- 3 前項の室料相当額は、基本宿泊料から食事料（朝・夕）を除いた額とします。

（営業時間）

第10条 当館の主な施設等の営業時間及び、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のインフォメーション等でご案内いたします。

- 2 前項の時間は、必要やむをえない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けません。

(当館の責任)

第13条 当館は、宿泊契約及びこれに関する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 当館は、消防法令に適合している宿泊施設として適合通知を受けておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(宿泊の責任)

第14条 当館の宿泊に関する責任は、宿泊客が当館の玄関帳場（フロントオフィス）に於いて宿泊登録を行ったとき、又は客室に入ったときのうちいずれか早いときに始まり、宿泊客が発発するため客室を空けた時に終わります。

- 2 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得てできる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 3 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは当館が15万円を限度としてその損害を賠償します。

- 2 宿泊客が、当館内に持込まれた物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当館に故意または重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときも、当館は当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前項において発見した物品が現金、貴金属などのただちに現金化できるものである場合は、前項の保管期間にかかわらず最寄りの警察署に届けます。
- 4 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両キーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責任に任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

2 宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため、万が一宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたと認識したときや損害を被ったと認識したときは、当館において速やかにその旨を当館に申し出なければなりません。

(免責事項)

第19条 当館内からのインターネット通信のご利用に当たっては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。インターネット通信のご利用中にシステム障害、その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。また、インターネット通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

(支配する言語)

第20条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

(管轄及び準拠法)

第21条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1 宿泊料金等の内訳 (第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内訳
宿泊客が 支払うべき 総額	宿泊料金	基本宿泊料 (室料+朝・夕食料) ※サービス料込
	追加料金	追加飲食 (朝・夕食以外の飲食料) 及びその他の利用料金
	税金	イ. 消費税 ロ. 入湯税 (温泉施設のみ)

備考 1. 税法が改訂された場合は、その改訂された規定によるものとします。
2. 子供料金は小学生と未就学児に区別して、3歳以上小学生以下に適用する。

別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

契約申し込み人数	契約解除の通知を受けた日				
	無連絡不泊	当日	前日	～7日前	～30日前
～100名まで	100%	50%	40%	20%	—
101名以上	100%	50%	40%	20%	10%

(注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、短縮日数分の違約金を収受します。
3. 団体客 (101名以上) の一部について契約の解除があった場合、宿泊の15日前 (その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日) における宿泊人数の10% (端数が出た場合には切り上げる) にあたる人数については、違約金をいたしません。
4. 宿泊日の変更についても、上記規定に準じます。
5. 宿泊人数の減員についても、上記規定に準じます。
6. グループ内他施設への変更についても、上記規定に準じます。

Accommodation Contract (General Terms and Conditions)

Scope

Article 1 The accommodation contract and any related contracts to be entered into between our hotel and guests shall be subject to the provisions of these General Terms and Conditions. Items not provided in these General Terms and Conditions shall be subject to the relevant laws, regulations, other rules (meaning laws and regulations and those based on laws and regulations; hereinafter the same applies), or generally accepted practices.

2 When our hotel

has entered into a special contract to the extent that such special contract does not conflict with laws, regulations, other rules, and practices, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, such special contract shall take precedence.

Requesting Accommodation Contract

Article 2 The guest who intends to make an application for an accommodation contract with our hotel shall provide us with the following particulars:

- (1) Name of the guest(s)
- (2) Date of accommodation and expected time of arrival
- (3) Accommodation charges (in principle, based on the basic accommodation charges listed in the Appended Table 1.)
- (4) Other particulars deemed necessary by our hotel

2 When our hotel requests the submission of the guest registration form on which the name, address, phone number, and other information of the guest are stated, the guest shall submit it immediately even if the accommodation contract has already been signed.

3 Our hotel may contact the guest by phone before or after the scheduled accommodation dates using the contact information received from the guest to confirm the reservation or for other related reasons.

4 If the guest, during his or her stay, requests to extend his or her stay beyond the accommodation date referred to in Item (2) of Paragraph 1 of this Article, it shall be regarded as an application for a new accommodation contract at the time such request is made.

Concluding Accommodation Contract, etc.

Article 3 An accommodation contract shall be deemed to have been concluded when our hotel accepts the application under the preceding article. However, this shall not apply when our hotel has proved that our hotel has not accepted the application.

- 2 When the accommodation contract is concluded according to the provisions of the preceding paragraph, the guest shall be required to pay an accommodation deposit set by our hotel up to the amount of the basic accommodation charge for the accommodation period (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by our hotel.
- 3 The accommodation deposit shall be initially applied to final accommodation charges to be paid by the guest, then secondly to the cancellation charge under Article 6, and thirdly to reparations under Article 18 as applicable. If there is a remaining amount, it will be refunded upon settlement of the bill pursuant to Article 12.
- 4 If payment of the accommodation deposit under Paragraph 2 is not received by the date specified by our hotel as provided in the same paragraph, the accommodation contract shall be considered as invalid. However, this shall apply only when our hotel has informed the guest of a due date for the payment of the accommodation deposit when specifying such date.
- 5 If our hotel provides an incorrect accommodation rate through our website or over the phone, even if the guest applies for an accommodation contract based on such rate and the accommodation contract is approved, if the accommodation rate is remarkably lower when compared to surrounding dates and there is no representation or notice of the reason for the rate to be lower, our hotel shall void the accommodation contract as an acceptance of an mistake under the Civil Code and swiftly notify the guest to that effect.

Special Contract Requiring No Accommodation Deposit

Article 4 Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding article, there are times our hotel accepts special contracts without requiring payment of the accommodation deposit.

2 If our hotel does not request payment of the accommodation deposit or indicate a payment due date for the accommodation deposit upon acceptance of the accommodation contract application, it is regarded as though our hotel has accepted a special contract under the preceding paragraph.

Request for Cooperation with Infection Prevention Measures in Our Facilities

Article 4-2 Our hotel may ask the guest wishing to stay for cooperation with infection prevention measures under the provisions of Article 4-2, paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Refusal of Accommodation Contracts

Article 5 Our hotel may not accept accommodation contracts under the following circumstances. However, this section does not mean that our hotel refuses to offer accommodations in a case other than the cases listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the accommodation application does not conform to these General Terms and Conditions.
- (2) When all rooms are full and there are no rooms available.
- (3) When it would be problematic to accommodate guests for unavoidable reasons such as natural disasters, damaged facilities, etc.
- (4) When the guest wishing to stay is a patient with the specified infectious disease or any person defined in Article 4-2, paragraph 1, item 2, of the Hotel Business Act.
- (5) When it is that the guest wishing to stay is likely to engage in an act against laws and ordinances, public order, or good manners in regard to accommodations.
- (6) When the guest wishing to stay engages in an act of making a violent demand or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodations (except for cases where the guest wishing to stay seeks to eliminate social barriers defined in Article 7, paragraph 2, and Article 8, paragraph 2, of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013; hereinafter referred to as the "Elimination of Disability Discrimination Act").
- (7) When the guest wishing to stay repeatedly makes demands to our hotel that are specified by Article 5-6 of the Regulation for Enforcement of the Hotel Business Act as the implementation of such demands may have the risk of imposing an excessive burden on our hotel and making it extremely difficult to offer accommodation services to other guests.
- (8) When the guest wishing to stay is likely to cause any trouble to the other guests due to drunkenness or use of markedly disorderly language.
- (9) When the guest wishing to stay has applied for accommodations concealing his or her business objective.
- (10) When the guest who has applied for accommodations has not responded immediately to our hotel's requests under Paragraph 2 of Article 2.
- (11) When the guest wishing to stay has caused significant trouble to the hotel by using the internet reservation system and repeatedly making and cancelling reservations without any reason.
- (12) When a case stipulated in prefectural ordinances applies.
- (13) When it is clear that the guest wishing to stay does not have the ability to pay.
- (14) When the guest wishing to stay brings, or tries to bring, dangerous items, restricted items, or items that cause trouble to other guests.
- (15) When the guest wishing to stay is a minor (under 18), in case the minor stays alone or with other minor(s), and has not submitted written consent of a person who has parental authority.
- (16) When it is found that the guest has had an accommodation contract refused or voided due to the reason falling under any of the items (5) through (15) of Paragraph 1 of Article 5.
- (17) When the guest engages in an act that is deemed by our hotel to be inappropriate.

2 Our hotel may refuse a request for an accommodation contract when the following applies.

- (1) When the guest(s) wishing to stay is a designated organized crime group or designated organized crime group member (hereafter "organized crime group" and "organized crime group member"), related person, or antisocial forces according to the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members established on March 1, 1992.
- (2) When the guest(s) wishing to stay belongs to an organized crime group, or a corporation or other entity controlled by an organized crime group.
- (3) When the guest wishing to stay is a corporation that includes a member of staff who qualifies as an organized crime group member.

Explanation on Reason for Refusing the Conclusion of Accommodation Contract

Article 5-2 If our hotel refuses to conclude an accommodation contract pursuant to the preceding article, the guest wishing to stay may ask our hotel for an explanation of the reason for the refusal.

Guest's Right to Cancel Contracts

Article 6 The guest may cancel his or her contract by notifying our hotel.

- 2 If the guest cancels the whole or part of the accommodation contract due to the reason attributable to the guest (excluding cases where our hotel requests the payment of the accommodation deposit specifying the payment due date pursuant to the provisions of Paragraph 2 of Article 3, when the guest cancels the accommodation contract before making such payment), our hotel requires the guest to pay a cancellation charge as listed in the Appended Table 2. However, in the case where our hotel has accepted a special contract under Paragraph 1 of Article 4, the same shall apply only when the guest is informed by our hotel of the obligation to pay the cancellation charge in case of cancellation of the accommodation contract by the guest.
- 3 If the guest does not arrive by 7 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if our hotel is notified such in advance) without any advance notice, our hotel may regard the accommodation contract as being cancelled by the guest.
- 4 In the event of cancellation pursuant to the provisions of the preceding paragraph, if the guest proves that the guest's failure to arrive without contacting our hotel is due to the non-arrival or delay of public transportation, such as train and plane, or for reasons not attributable to the guest, our hotel will not charge the cancellation charge referred to in Paragraph 2.

Hotel's Right to Cancel Contracts

Article 7 Our hotel may cancel accommodation contracts even during the accepted contract period when the following applies.

However, this section does not mean that our hotel refuses to offer accommodations in a case other than the cases listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When any of Article 5, paragraphs 1 (3) through (17) and Article 5, paragraphs 2 (1) through (3) shall apply.
- (2) When the guest does not abide by rules pertaining to smoking in bed, interfering with fire-fighting equipment, and other prohibited items (limited to things necessary for the prevention of fire).
- (3) When the person wishing to stay is exceedingly dirty or wearing a costume, which may cause problems to other guests.

2 If a case falls under any of the Items of Paragraph 2 of Article 5, this hotel shall cancel the accommodation contract even during the accepted contract period.

3 When our hotel cancels an accommodation contract pursuant to the provisions of the preceding Paragraph 1 and Paragraph 2 and the reason for the cancellation is subject to Paragraphs 1 (2) and (3), the guest shall not have to pay for services the guest has yet to receive. However, the guest will not be reimbursed for services the guest has already received. When the cancellation is due to other reasons, the guest shall also pay the charge for services the guest has yet to receive as a cancellation charge.

Explanation of Reason for Terminating Accommodation Contract

Article 7-2 If our hotel terminates an accommodation contract pursuant to the preceding article, the guest may ask our hotel for an explanation of the reason for the termination.

Registration of Stay

Article 8 On the day of the guest's stay, the guest shall register the following information at the front desk.

- (1) The guest's name, address, and contact information
 - (2) For foreign nationals who do not reside in Japan: nationality and passport number
 - (3) Other items our hotel considers necessary
- 2 When the guest wishes to pay the charges under Article 12 using a method other than cash such as traveler's checks, hotel vouchers, credit card, etc. approved by our hotel, it shall be shown in advance when making registration under the preceding paragraph.

Occupancy Hours of Guest Room

Article 9 Guests may use the guest rooms from check-in time to check-out time as established by our hotel. However, when the guest stays consecutively, the guest may use the room throughout the day, except for the days of arrival and departure.

2 Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, our hotel may permit the guest to occupy the guest room beyond the time specified in the preceding paragraph. In this case, payment of additional charges is required as stated below.

- (1) For up to 3 additional hours: amount equivalent to 30% of the room charge
- (2) For up to 6 additional hours: amount equivalent to 60% of the room charge
- (3) For more than 6 hours: amount equivalent to 100% of the room charge

3 The aforementioned "room charge" is the basic accommodation charge minus meal costs (breakfast and dinner)

Business Hours

Article 10 Business hours of major facilities, etc. of our hotel and the details of business hours of other facilities, etc. of our hotel can be found within the supplied pamphlet, on the bulletin board of each location, or through Service Directory Information in each room.

2 Times referred to in the preceding paragraph are subject to temporary changes when unavoidably necessary. In such case, the guest shall be notified in the appropriate manner.

Payment of Charges

Article 12 The breakdown of accommodation charges, etc. that the guest shall pay is as listed in the Appended Table 1.

2 Accommodation charges etc. referred to in the preceding paragraph shall, when charged by our hotel, be paid at the front desk in cash or by any means other than cash, such as traveler's checks, hotel vouchers, and credit cards that are approved by our hotel.

3 The guest shall pay the accommodation charge even if the guest voluntarily does not use the room that has been provided for the guest by our hotel and become available.

Our Hotel's Liability

Article 13 Our hotel shall compensate the guest for damage if our hotel has caused such damage in the fulfillment or non-fulfillment of the accommodation contract or any other related contract. However, this shall not apply to cases where the cause of the damage is not attributed to our hotel.

2 Our hotel holds a compliance notification as an accommodation hotel conforming to the laws and regulations related to fire defense. However, our hotel is covered by Hotel Liability Insurance in preparation for unexpected fire and other disasters.

Liability in Regard to Accommodation

Article 14 Our hotel takes responsibilities for accommodation from the time the guest registers at the front office of our hotel or the time the guest enters the guest room, whichever is faster, and ends when the room is vacated for the guest to depart.

2 If our hotel is unable to provide the guest room as contracted, with the guest's consent, our hotel shall do our best to arrange another accommodation facility with the same conditions.

3 If our hotel is unable to arrange another accommodation facility notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, our hotel will pay to the guest a compensation fee equivalent to the cancellation charge, and the compensation fee shall be applied to damages. However, if a guest room cannot be provided due to causes for which our hotel is not liable, our hotel shall not pay any compensation fee.

Handling of Deposited Articles

Article 15 If loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables deposited by the guest at the front desk, except in cases where this has occurred due to causes of force majeure, our hotel shall compensate the guest for the damage. However, in the case of cash and valuables, if the guest fails to provide information on its type and value as requested, our hotel shall compensate the guest for the damage within the limit of 150,000 yen.

2 If loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables that are brought into our hotel by the guest but are not deposited at the front desk and such loss or damage is caused due to an intentional act or gross negligence on the part of our hotel, our hotel shall compensate the guest for the damage. However, in the case of the article where information on its type or value has not been provided by the guest in advance, our hotel shall compensate the guest for the damage within the limit of 150,000 yen, except for cases where there is an intentional act or gross negligence on the part of our hotel.

Custody of Guest's Baggage and Belongings

Article 16 When the guest's baggage is brought into our hotel before the arrival of the guest, our hotel shall take responsibility for storing it only if our hotel has accepted such a request before the arrival of the baggage. Our hotel shall hand over the baggage to the guest when the guest checks in at the front desk.

2 When the baggage or belongings of the guest are found left behind after the guest's check-out, our hotel shall contact the owner and ask for instructions even if the ownership of the article is identified. However, when no instruction is given to our hotel by the guest or when the ownership is not identified, our hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, our hotel shall turn the article over to the nearest police station.

3 If the article found as per the preceding paragraph is cash, precious metal, or those that can readily be converted into cash, the article shall be turned over to the nearest police station regardless of the custody period referred to in the preceding paragraph.

4 Our hotel's liability for the storage of the guest's baggage or belongings in the case of the preceding 2 paragraphs shall be subject to the provisions of Paragraph 1 of the preceding article in the case of Paragraph 1 and subject to the provisions of

Paragraph 2 of the same article in the case of the preceding paragraph.

Liability in Regard to Parking

Article 17 Our hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the guest when the guest uses the parking lot of our hotel, as our hotel simply offers the space for parking, whether the key for the vehicle has been deposited at our hotel or not.

However, our hotel shall compensate the guest for damage caused by an intentional act or negligence on the part of our hotel.

Guest's Liability

Article 18 In the event our hotel suffers damage caused by an intentional act or negligence of the guest, the guest shall compensate our hotel for the damage.

2 In order for the guest to smoothly receive accommodation services under the accommodation contract, in the event the guest recognizes that accommodation services that are different from the contents of the accommodation contract are provided or recognizes that the guest suffers damage, the guest shall promptly notify our hotel to that effect.

Disclaimer

Article 19 Use of the Internet within our hotel is the guest's own responsibility. Our hotel shall not be liable for any damage incurred by the guest even as a result of the interruption of services due to system failure or for any other reason during the use of the Internet. Additionally, in the event any damage is incurred by our hotel or any third party resulting from the use of the Internet that is deemed by our hotel to be inappropriate, the guest shall compensate for such damage.

Controlling Language

Article 20 These General Terms and Conditions are executed in both Japanese and English; however, in the event of any discrepancy or difference between the Japanese version and the English version, the Japanese version shall take precedence on all counts.

Jurisdiction and Governing Law

Article 21 All disputes arising out of or in connection with these General Terms and Conditions shall be settled in accordance with the laws and regulations of Japan by a Japanese court having jurisdiction over the location of our hotel.

Appended Table 1: Breakdown of Accommodation Charges, etc. (Relating to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Breakdown
Total Amount to be Paid by a Guest	Accommodation Charges	Basic Accommodation Charge (Room charge including breakfast and dinner) *Service charges are included
	Additional Charges	Additional Meals and Drinks (Meals and drinks other than breakfast and dinner) and other usage charges
	Taxes	A. Consumption tax B. Bath tax (only in facilities with hot springs)

Notes 1. In the event of a revision of the relevant tax law, the revised provisions shall apply.

2. Accommodation charges for children are classified into the charge for elementary school children and preschool children and are applicable to children aged 3 years or older and children of elementary school age or younger.

Appended Table 2: Cancellation Charges (Relating to Paragraph 2 of Article 6)

Contracted number of guests	Date when cancellation of contract is notified				
	No show	On the accommodation day	1 day prior to the accommodation day	2 to 7 days prior to the accommodation day	8 to 30 days prior to the accommodation day
Up to 100	100%	50%	40%	20%	—
101 and more	100%	50%	40%	20%	10%

- Notes:
1. The percentages indicate the ratio of the cancellation charge to the basic accommodation charge.
 2. If the guest shortens his or her stay, regardless of the number of days shortened, the guest shall pay a cancellation charge for the number of days shortened.
 3. If the accommodation contract is cancelled with regard to part of a group booking (101 and more), our hotel shall not charge for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked (any fraction shall be rounded up) as of 15 days prior to the accommodation (if notified after that date, as of the day on which the cancellation is notified).
 4. The above provisions shall also apply to the change of an accommodation date.
 5. The above provisions shall also apply to the reduction in the number of guests.
 6. The above provisions shall also apply to the change to another facility within our Group.